

▼アロマシン錠 [内]

- 【重要度】 【一般製剤名】 エキセメスタン exemestane 【分類】 抗悪性腫瘍剤 [アロマターゼ阻害薬]
- 【単位】 ▼25mg/錠
- 【常用量】 25mg/日
- 【用法】 分1 食後
- 【透析患者への投与方法】 重度の腎障害のある患者には慎重投与 [安全性未確立] (1)
- 【保存期 CKD 患者への投与方法】 重度の腎障害のある患者には慎重投与 [安全性未確立] (1) 【その他の報告】 腎機能障害患者では、健康女性と比較して AUC が約 2~3 倍に増加 [CL/F が低下] するが、半減期は変わらない (1) 腎機能低下により AUC が 2~3 倍に増加するが、もともとの個人差が大きいため用量調節は不要 (Jannuzzo MG, et al: Cancer Chemother Pharmacol 53: 475-81, 2004)
- 【特徴】 アロマターゼ阻害剤で、閉経後乳がん、再発乳がんの治療に用いられる。
- 【主な副作用・毒性】 ほてり、多汗、めまい、悪心、下痢、傾眠、動悸、膀胱炎、不正出血、骨粗鬆症、肝機能障害、黄疸、疲労など
- 【吸収】 40%以上 (1) 高脂肪食で上昇 (1)
- 【F】 1.9~5.0% [ラット] (1)
- 【tmax】 2~3.5hr (1) 0.9~2.6hr (Miura S, et al: Gan To Kagaku Ryoho 29: 1189-97, 2002)
- 【代謝】 CYP3A4 による 6 位のメチレン基の酸化もしくはアルドーケト還元酵素による 17 位のオキシの還元がメインで、その後加水分解や抱合反応により代謝される (1)
- 【排泄】 尿中未変化体排泄率 0.13% [po, 48hr まで] (1) 尿中回収率 42% [168hr まで] (1) 【CL/F】 128~909L/hr (1) CL/F と Ccr は正相関 (Jannuzzo MG, et al: Cancer Chemother Pharmacol 53: 475-81, 2004)
- 【t1/2】 22.5hr (1)
- 【蛋白結合率】 96% (1)
- 【Vd/F】 17000~24000L/man [F が小さい] (1)
- 【MW】 296.40
- 【透析性】 資料なし (1) ほとんど除去されないとされる (5)
- 【O/W 係数】 脂溶性 (1) 【薬物動態】 線形 (Miura S, et al: Gan To Kagaku Ryoho 29: 1189-97, 2002)
- 【相互作用】 エストロゲン含有製剤が本剤の効果を減弱させる可能性 (1) タモキシフェンの PK に影響しない (Hutson PR, et al: Clin Cancer Res 11(24 Pt 1):8722-7, 2005) タモキシフェンは PK に影響しない (Rivera E, et al: Clin Cancer Res 10: 1943-8, 2004)
- 【妊婦・授乳婦への投与】 安全性未確立 (1)
- 【更新日】 20170123

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配付を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。